

これが 公民館報

第296号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,945	世帯
人口	4,904	人
男	2,379	人
女	2,525	人

(平成27年1月1日現在)

年の始めに書き初めをしました 書き初め教室開催

思いをこめて、元気に筆はこび

二〇一五年が明け、お正月の余韻が残る仕事初めの一日、毎年恒例となった「書き初め教室」が四賀支所三〇二会議室で開かれました。その午前の部を取材しました。

今年も小峰眞佐子さんを講師として迎え、開催です。参加生徒数は小学生が十三名、中学生が三名の合わせて十六名です。既に思い思いに筆を走らせていました。一筆書いては頭を上げ眺め、ため息をつく人、一気呵成に書き上げる人と様々ですが、元気で思いのこもった作品が次々と完成してゆきます。

昨年取材に訪れましたが、今年も参加している生徒もいて、その上達ぶりがよくわかります。

作品は「市民タイムス」のコンクールへ応募するものもあり、入選することを期待しながら取材を終えました。

「書き初め」は、新しき年の幕開けの行事。これからも毎年開催が継続されて欲しいものです。



今年、年越し蕎麦は自家製…

蕎麦打ち講座開催



年末を控えた十二月六日に恒例となった蕎麦打ち講座が四賀支所調理実習室で開催されました。おいしい新蕎麦を食べたい人や年越し蕎麦を自分で作りたい参加者十六名に、蕎麦

食人会は蕎麦をこよなく愛する市役所の職員を中心に結成された会で、定期的に蕎麦を打っておいしい蕎麦の探求をしているそうです。

四人ずつのグループに別れ、まず講師の実演を見学し細かなやり方やコツを覚えたところで一人で五百グラムの蕎麦を打ちます。初めて参加の人、おいしい蕎麦を打ちたい、という経験者などが真剣

新成人おめでとう!



にメモを取り、講師の指導で打ちました。水加減や練り方、のし棒で四角く均等に伸ばす力加減など自分で上手く打てるようになるには何度もやらなければならないと思います。多くの参加者が年越し蕎麦に挑戦したいと張り切っていました。

本格的に道具を揃えるのは大変ですが、コネ鉢は大きめのステンレスのボウルを使い動かないようにすれば十分だそうです。のし板もテーブルがコンパネで代用できます。あなたも気軽に蕎麦打ちを始めてみませんか。

全員が打ち終わるといよいよ講師の打った蕎麦で茹で方と待望の試食です。箸が止まらないほどおいしい蕎麦をいただきました。



名が参加しました。
瀧澤会長から、しめ飾りについでの説明を聞いた後、まず基本的な「縄ない」をはじめました。手の小さい低学年の子どもはうまく縄をなうことができず、保護者に手伝ってもらい仕上げていました。高学年の子ども達は、コツを教えてもらってすぐにうまくなるようになりました。
次は「杓子（しやくし）、しゃもじ」「おわん、お猪口」と呼ぶ二種類を作り「紙垂（しでり）」をつけた後、松に縄で縛りつけ完成です。

お正月を迎えよう！ しめ飾り体験学習会

十二月十四日、子ども会育成会主催の「しめ飾り体験学習会」が四賀支所で行われました。正月の飾りもの「しめ飾り」について理解を深め、自分で作ってみようと、保育園児から小学校五年生までの子どもと保護者二十四

ぐりとぐらの 巨大カステラ作り

1月17日、前々日の大雪にも関わらず、大勢の参加で巨大カステラ作り教室が四賀支所調理実習室で開かれました。

絵本の『ぐりとぐら』の中に出てくる大きなカステラを作ろうと活動されている『にこにこフライパン』の方々が講師です。

全部で卵150個を使った生地を直径90センチのフライパンに流し、蓋をして上下を炭火で一時間半焼きます。焼き上がり待つ間は、講師の方による『ぐりとぐら』の読み聞かせが行われました。



カステラが焼き上がり、蓋を外した瞬間、参加者から歓声が上がりました。ふわふわ柔らかく甘いカステラを、美味しそうにいただく笑顔は、絵本の中のぐりとぐらの気持ちと同じではないでしょうか。

いつものサラダケーキを クリスマスバージョンで

公民館主催の料理教室が12月20日に、四賀支所調理実習室で開催され、親子連れなどの参加で、講師の横内理恵子さんからキャンドルケーキとポテトツリーサラダの作り方を学びました。

ツリーサラダは、プレーンなポテトサラダの生地をクリスマスツリー型に成型し、そこにブロッコリーやミニトマト、うずら卵などを飾つけていきます。参加者は「三九郎みたいになっちゃった」「土台のツリーは細長くしないとダメね」などと話しながらバランス

よく色鮮やかなツリーに仕上げていました。

次にスポンジケーキをロウソク型に巻いて、上に炎に見立てたイチゴを飾ったキャンドルケーキも作りました。

食べてしまうのがもったいない可愛い2品を記念に撮影した後、皆でなごやかに試食しました。



説明会では発掘された遺跡の詳細な説明があり、出土遺物が展示されました。それらと古文書の調査から推測されることは、この地がお寺が多くあった場所ではないかとのことですが、まだ不明なことが多く、会田氏の館はあったのか、などの全容はこれから発掘により解き明かされていくこととなります。期待しながら今後も注目しましょう。

昨年十二月六日に殿村遺跡の第6次発掘調査の現地説明会が行われました。今までと同じく、旧会田中学校のグラウンドでの発掘は場所をずらしながら発掘の範囲を広げて、遺跡の全貌に迫ります。さらに今回は、北側の広田寺に近い畑を発掘し、室町時代に造成された平場と、柱穴や炉の跡、溝の跡が見つかりました。



寒さの中、大勢の参加者が訪れました。

湧き水

▼四賀で活動している色々なサークルが参加して「福寿草倶楽部」を結成している事は多くの皆さんがご存じのことだと思います。現在およそ二〇のサークルに二三〇名ほどが歌や踊り演奏・運動さらに趣味などに楽しく活動しています。参加する会員の多くは六〇代から七〇代の女性が多く見られ、勿論男性も頑張っています。女性の方の元氣さには負けているかなと感じます。

▼高齢化の波が押し寄せ活動できない会員が増える一方、若い人の参加が少なく活動に支障が出ているサークルもあると聞きます。ぜひ多くの若い人、特に男性にも自分の趣味や好みに合ったサークルに参加してほしいと思います。

▼友達が増える。知識が増える。刺激を受ける。楽しみができる。元氣がもらえる。クラブやサークルなど同好の仲間に入るメリットは多くあります。もちろん自分の心がけ次第の面もありますが、面白そうだと思ったり、誘われたら「やってみようか」と前向きに、気負わずにチャレンジしてみてください。四賀の元氣はあなたの参加から。